

そよ風



第 18 回 院内研究報告会

開催日：平成 22 年 2 月 24 日(水曜日)

この研究報告会は、当センターが平成 4 年に開設してから 18 回目を数えます。

毎年、日々の業務改善状況を確認しつつ、研究成果の発表を通して、職員の学術的資質の向上とセンター内外の評価を受ける機会としています。特に優秀な研究に対しては、外部及び、論文として専門誌に発表するようにしています。また、全演題を論文の形で補正し、研究報告集第 18 巻として近く発刊する予定です。

今回の報告は、口頭発表が 10 演題でした。最優秀賞 1 題・優秀賞 1 題・努力賞 1 題が選ばれ、受賞者には表彰状が授与されました。

最優秀賞

重症心身障害児(者)の経管栄養回数見直しとその影響
～高濃度栄養剤と水先投与方法を用いた回数削減を試みて～
第 1 病棟 黒川裕紀子他

優秀賞

閉塞型睡眠呼吸障害のある重症心身障害(児)者における良質な睡眠獲得に向けて
～口腔内装置(下顎前突型歯科的装置)を使用した試み～
第 4 病棟 菅原健太他

努力賞

スピーチに障害のある幼児の運動評価の試み
よつぎ療育園 鈴木あずさ他

その他の演題

筋緊張亢進と胸郭変形に伴う呼吸障害をきたした重症心身障害児(者)に対する
ボツリヌス毒素と NPPV による治療経験 医局 江添隆範

神経因性膀胱でバルンカテーテルを留置している重症心身障害者の尿路感染症予防
～予防的ケアとしてクランベリージュースを摂取して～

第 2 病棟 浅岡啓太他

呑気症により日常的に腹部膨満のみられる利用者へのアプローチ

～腹部マッサージを試みて～

第 3 病棟 藤川由紀子他

食事場面における問題と認知発達段階との関係

リハ科 及川むつ子他

重症心身障害児(者)に対する聴性行動反応検査(BOA)における反応

～認知発達段階と音に対する反応について～

リハ科 荻原千恵他

A さんの自傷行為減少を目指した取り組み

通所係 影澤勝他

筋低緊張児への補助具の作成

～腕の動きを補助する～

あけぼの学園 金澤太郎他



第 1 病棟 黒川裕紀子

平成 21 年度 院内研究報告会で最優秀賞を頂きました。この研究が評価されたことは、研究メンバーの自信にも繋がっており、少し成長できたようにも思います。

日々の利用者様の栄養状態や生活環境を見直す機会にもなりました。そして、よい結果を得られたことは、利用者様や職員にとって、プラスの変化だったと思います。このような機会を与えて下さったことに感謝の気持ちでいっぱいです。

また、今回の賞は、病棟スタッフはじめ、医師・放射線技師のご協力や、家族の方々のご理解があって、頂けた賞だと思っています。今後も、この研究をもっと多くの方々に知って頂けるよう努力していき、よりよい療育の場になるよう目指していきたいと思っています。





平成 22 年度事業計画



平成 22 年度事業計画の基本的な考え方は、当センターの施設理念のもとに、職員一人ひとりの知識、経験などを最大限に生かし、一層効率的・効果的な事業運営を図るとともに、喫緊の課題である看護師の確保・定着対策について、引き続き全力を挙げて取り組んでまいります。

運営方針

- 利用者の立場に立った、安全で安心できる、質の高い療育サービスを提供します。
- 丁寧で分かりやすい説明と接遇の向上に努め、納得と信頼ある施設の実現を推進します。
- 療育上の相談や看護・介護技術の指導等を通じて、更なる在宅支援の充実を推進します。
- 職員の能力向上にむけた制度づくりを進め、高度かつ専門的な知識、技術を身に付けた人材を育成します。
- 利用者ニーズや社会情勢の変化などを把握し、指定管理者制度を活かした効率的かつ効果的な事業運営を推進します。

入所・入院

定床 128 床

- (1) 長期入所については、92 床で運営します。
- (2) 短期入所については、28 床で運営します。
- (3) 医療入院については、8 床で運営します。

なお、短期入所、医療入院は枠にこだわらずに日程調整により空床を利用して、より多くの在宅者が利用できるようにし、稼働率の向上に努めます。

外来診療

- (1) 1 日当たり平均 135 名を目標事業規模とし、心身障害児(者)の専門医療に対する要望に十分応えられるよう努めます。
 - (2) 歯科については、地域の歯科医療機関との連携による機能分担に努め、受診者の増加に適切に対応していきます。
- また、治療までの待ち日数の短縮に努め、待機者の解消を図ります。

通所事業

在籍者 36 名、1 日受け入れ人数 30 名で運営します。

ご家族の負担を軽減するため、通所バスについては 5 台で送迎を実施します。
また、引き続き受け入れ時間延長を行うことなどにより、サービス向上に努めます。

在宅支援と地域社会との協調

- (1) 外来に設けている療育相談室における療育上の相談、医療介護機器の使用方法や看護・介護技術の指導等を通じて、地域に根ざした施設として在宅支援のさらなる充実に努めます。
- (2) 市町村や特別支援学校等の健診事業への協力を通じて、地域医療の充実と向上に寄与します。
- (3) ボランティアの積極的な受け入れや入浴施設、プール等の施設開放事業の推進、さらには地域への普及啓発活動などの実施を通じて、障害児(者)を地域で支えあう基盤を築きます。

平成 22 年度主要行事計画

病棟行事

●大行事

- 1 夏祭り 8月6日(金)
- 2 東大和フェスタ(仮称)10月16日(土)
- 3 クリスマス会 12月

●日帰り旅行

- 第1病棟 10月6日(水)
- 第2病棟 10月7日(木)
- 第3病棟 10月12日(火)
- 第4病棟 10月13日(水)

●その他

- 1 ボランティアによる催し物
多摩スマイル吹奏楽 6月20日(日)
駒澤大學高等学校吹奏楽 10月初旬
都立東大和南高等学校吹奏楽 11月下旬
多摩っ子バブルス 日程未定
- 2 地域行事への参加
近隣高等学校・大学等の
文化祭や体育祭等の見学

通所行事

- 1 新利用者歓迎会 4月
- 2 タベの会 6～7月
- 3 夏祭り 8月6日(金)
- 4 グループ遠足 9月
- 5 東大和フェスタ(仮称) 10月16日(土)
- 6 クリスマス会 12月
- 7 成人式 1月

リハビリテーション科行事

- 1 初夏のダンスパーティー 6月
- 2 ボッチャ大会 10月
- 3 制作展 11月
- 4 春の発表会 3月

栄養科行事食

- | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|
| 1 お花見弁当 | 4月 | 10 文化の日 | 11月3日(水) |
| 2 こどもの日 | 5月5日(水) | 11 クリスマス会 | 12月24日(金) |
| 3 お楽しみ弁当 | 6月 | | 25日(土) |
| 4 七夕食 | 7月7日(水) | 13 年越しそば | 12月31日(金) |
| 5 土用の丑の日 | 7月26日(月) | 14 おせち料理 | 1月1日(土) |
| 6 開設記念日 | 8月1日(日) | | ～3日(月) |
| 7 夏祭り | 8月6日(金) | 15 七草 | 1月7日(金) |
| 8 秋分の日 | 9月23日(木) | 16 バレンタイン | 2月14日(月) |
| 9 秋のお弁当 | 10月 | 17 ひな祭り | 3月3日(木) |

■なお、日程につきましては変更になる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

就任のごあいさつ

事務長 吉野 雅文



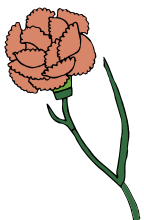
4月に事務長としてまいりました。どうぞよろしく申し上げます。実は東大和療育センターとは多少ご縁があります。大分昔の話になりますが、私は平成4年10月から2年数カ月、都の児童福祉施設の担当として重症心身障害児者施設、乳児院、肢体不自由児施設の管理運営についての調整などを行っておりました。東大和療育センターは、平成4年8月、平山前院長など開設準備室の皆さんや前任の都の開設担当のご尽力により一次開設の運びとなりましたが、私はその直後の赴任となります。東大和の関連では、微力ながら平成5年4月の二次開設のほか、天皇、皇后両陛下の行幸啓、よつぎ療育園の土地探しなどに関わらせていただきました。また、都の重症心身障害児者施設のあり方の検討も行き、多摩地区に集中していた施設を地域的バランスなども考慮し、区部にも設置すべく議論を重ねたことなどが懐かしく思い出されます。

今、東大和療育センターでは、桜が咲き、各病棟の庭にはチューリップ、三色すみれなどの花々が咲き乱れています。部屋では利用者の皆さんが生き生きとまた伸び伸びと療育を受けられています。この様子は私が18年近く前に見た光景と何ら変わりはありませんし、職員の皆さんの笑顔に満ちた優しいまなざし、これも変わってはいません。当時にタイムスリップした感があります。先日センター内を歩いていたいたら、顔に見覚えのある方から、「開設のころセンターにおられませんでしたか。」と声をかけられ、その再会は何とも嬉しい限りでした。

これからも、東大和療育センターが、全国重症心身障害児(者)を守る会の「最も弱いものをひとりもれなく守る」などの基本方針のもと、利用される方々を主体として、ご家族と職員の皆さんが一体となって安心で質の高い療育が実現できたらと願っています。ぜひ、その実現に向け、私もお仲間に加えていただければと思います。当センターを利用される方々、そのご家族、職員の皆さんの温かいご支援ご協力をお願いいたします。

今年もきれいに咲きました





●○○行事報告○○●

通所

ランチパーティ

指導員 杉本 裕樹



平成 22 年 1 月 27 日(水)に“通所お楽しみ会 & バイキング”を開催しました。

利用者の皆様に、普段なかなか体験できないディナーショーの雰囲気味わってほしいという思いから、今回の企画が生まれました。題して“通所ランチパーティー”!

ディナーショーと言えばもちろん“料理”ですが、今回はセンターの栄養科の皆さんに豆腐懐石料理を出して頂き、職員がスーツに蝶ネクタイ姿で高級ホテルのウエイターになりきって皆様のテーブルまでサーブしました。会場は皆様が見慣れているセンタープレイルームでしたが、

当日のプレイルームはリニューアルして、床・テーブル面にバラの花びらが散りばめられ、ロウソクの明かりでうす暗い、高級レストランに大変身を遂げました。

さらに気になる目玉となる“ショー”の部分ですが、今回のランチパーティーには、なんとプロのミュージシャンを招きました。市内在住のシンガーソングライターで、アリス・ユーミン他と共演、コロムビアレコードより「冷たい水」を発表、NHK 朝の連続テレビ小説「ハイカラさん」のテーマ曲を歌っていた経歴を持つ、ふるや杏さんをゲストに迎えました。

さらに通所からも“ツーショーズ バンド”などがステージを盛り上げ、利用者の皆様も親御さんも職員も、会場にいた全員が楽しむことができたランチパーティーとなりました。

第二病棟

お楽しみ会

指導員 松田 実樹

今年度も第二病棟では、昨年同様プレイルームで生演奏会を行いました。まずは、赤いラバースーツに身を包み軽快な(?)ステップを踏んで踊った第二病棟のマイケルジャクソンによるダンスのオープニングに始まり、実際のピアノ、フルート、クラリネットのトリオ演奏ではディズニーや松田聖子などの名曲も交えながら歌ったり、思い思いに楽器を演奏したりして午後の時間を過ごしました。

普段から音楽を好んで聴くことが多い第二病棟の利用者の方ですが、生演奏というだけあって体に伝わってくる振動を感じたのか、音楽にじっと耳を傾けている利用者や思わず身体が動きだして踊ってしまいそうな利用者など、いつもと違う一面をみることができました。来年度はお楽しみ会という形での実施はなくなりますが、新たな行事を通じて利用者が様々な体験をしたり楽しんだりすることができればと思います。



第一病棟

お楽しみ会

指導員 村上 英雄

2月25日(木)に第一病棟のお楽しみ会「一棟祭」がありました。今回のテーマは「学園祭」利用者の皆さんに楽しんでもらえるような企画を用意しました。前半は模擬店を楽しみ(釣りゲーム・占いの館・思い出のアルバム・展示・メイド喫茶の5つのコーナー)、後半は学生に変装した職員によるダンス(ポッキーのCMでおなじみの♪じょいふる)、利用者さんが好きな競馬から競馬予想で楽しみました。(もちろん馬は職員が変装!ファンファーレや予想新聞を作り少し本格的に?)

ドタバタする場面もありましたが、呼吸器の利用者さんを含め、全員が会に参加することができました。利用者の皆さんにとって少しでも楽しい思い出ができれば成功ですが、いかがでしたか?



リハビリテーション科 春の発表会

理学療法士 酒井 理恵

リハビリテーション科では3月9日(火)に「春の発表会」を開催しました。お天気はあいにくの雪で“冬”の発表会、になりそうでしたが、会場のプレイルームは参加者や見学の皆さんの熱気で、暖かい“春”の発表会となりました。

今年度は、キャベツグループのオリジナル歌あそびで、元気よく始めました。海組のアラビアの海をイメージした踊りは、雄大な海が目に見えてくるような、大人の雰囲気のあるダンスでした。月組の皆さんは「やまとの音楽家」と称して、それぞれ動物に扮して得意な楽器の演奏を披露してくれました。さくら組のメンバーによる「大きなかぶ」の劇は会場からの特別参加もあり、みんなで「うんとこしょ!どっこいしょ!」と掛け声をかけて盛り上がりました。それから、普段頑張っている体操の披露や、撮りためた写真や一生懸命作った作品の披露などもありましたね。出演者のみなさんのイキイキとしたよい表情が思い浮かびます。



今年も大勢の皆さんに見学に来ていただいて、ありがとうございました。来年もどうぞお楽しみに!



●●療 育 活 動●●

第一病棟 ー最終回ー

指導員 佐藤 洋

皆さん、こんにちは。シリーズ最終回の療育活動は、第一病棟の午後の活動についてお伝えしたいと思います。

東京にも珍しく積雪が観測された2月初旬、第一病棟の愉快的スタッフ達は外に出て、何やら張り切って作業をしていました。利用者の皆様にご覧頂こうと、五つの雪だるまを作っていたのです。出来上がった雪だるまを目にした皆様は、どこか物珍しそうな眼差しでご覧になっていました。親御さんからも評判の良かった雪だるま。

2月3日(水)は節分の日でしたが、読者の皆様は「豆まき」されましたでしょうか？第一病棟では、2月6日(土)に節分の催しをしました。貫禄のある男性看護師が赤いカツラをかぶり、見事な赤鬼役を演じていたまさにその時、利用者職員からの「鬼は外！」という掛け声と共に豆の総攻撃を受けていました…。赤鬼は呆気なく退散です。そして、たくさんの「福」が病棟に入ってきたのではないのでしょうか。写真は、壁画作成のプロと呼ばれた某保育士が作りました。

さて、シリーズでお伝えしてきた第一病棟の療育活動も、今回を以て終了となります。4回の連載を通して、第一病棟の雰囲気は少しでも読者の皆様に伝わって頂ければ幸いです。

全ては利用者の健康と笑顔のために、病棟スタッフは一丸となって、より良い看護療育の在り方を追求し続けます。



第三病棟

指導員 速水 愛子



第三病棟では毎月 1 回感覚遊びをしています。感覚って一言で言っても味覚、触覚、嗅覚、視覚、聴覚といっぱいあります。

11 月にはプレイルームを貸し切ってみんなでスタンプラリーをしました。

氷を触るゾーン・楽器を鳴らすゾーン・アロマオイルの匂いを楽しむゾーン等様々なゾーンを作ってみました。みんなどこのゾーンに行こうかなとウキウキ!! 氷を触ると冷たいと顔をしかめる人や甘い香りに思わず笑顔が出る人。みんなとっても楽しそう!

何が一番楽しかったのかな? 第三病棟のみんなに会ったら聞いてみてくださいね!!

第四病棟

指導員 笹瀬 紀恵

3 月 3 日(水)は雛祭り。第四病棟では、病棟外に隠された桜の花びらを探しにお散歩へ出かけました。散歩中は桜の花びらを探そうと、入所者の皆さんはキョロキョロしていると・・・



エントランスにあるひな壇の、周囲に沢山の桜の花びらがありました!! 雛人形をじっくりみて花びらを持ち病棟へ帰ると‘うれしいひな祭り’の音楽が流れていました。そしてデイルームの壁には、1 本の花も何もない幹があり、その幹に持ってかえてきた桜の花びらを沢山貼ると・・・桜の木が完成しました。暖かい春がやってくるのはあと少しですね

編集後記

新年度が始まると、決まって思い出すのが入学式や入社式。桜の開花に合わせるかのように、夢と希望に胸を膨らませる時期でもあります。初心を忘れず、日々、研鑽を積んで参りたいと思います。

そよ風に関する、ご意見・ご質問・ご提案等がございましたら、お近くの広報委員もしくはセンター庶務係(内線:624)までご連絡ください。

そよ風第 60 号

編集 院内報そよ風編集委員会

発行日 平成 22 年 4 月 15 日

発行 東京都立東大和療育センター

東京都東大和市桜が丘 3-44-10

☎ 042-567-0222

印刷 有限会社 はじめ印刷

☎ 042-560-3031